

淀川水系流域委員会 第 30 回淀川部会(2005. 8. 22 開催) 結果報告		2005. 9. 9 庶務発信
開催日時：	2005 年 8 月 22 日 (月) 13 : 00 ~ 14 : 00	
場 所：	コラボしが 2 1 3 階 大会議室	
参加者数：	委員 17 名、河川管理者 (指定席) 14 名 一般傍聴者 108 名	
<p><b>1. 決定事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の淀川部会は、9 月 13 日 (火) 16 : 00 ~ 19 : 00 京都リサーチパークにて開催する。</li> </ul> <p><b>2. 審議の概要</b></p> <p><b>①「当面実施せず」の場合における大戸川の治水対策について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大戸川を管理している滋賀県と調整していきたいと考えている。現時点で示せるものはない。大戸川下流の治水対策は非常に重要だと認識している。できるだけ早く調整していきたい (河川管理者)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>← 大戸川の流域の治水安全度をどのように保つのか。基本的な考え方はあると思う。現時点での基本的な考え方をお示し頂きたい (部会長)。</li> <li>← 今の時点でやっておくべきこと、将来やっておくべきことを分けて考えないといけない。河川を管理している側とダム側の考え方も含めて調整していかないといけない (河川管理者)。</li> </ul> </li> <li>・ 方針の決定時期や工事着手はいつごろになるのか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>← 具体的な計画を確定した時点でいつまでにどのくらいのコストをかけるのかを決めていく。調整が必要であり、時期を示すのは難しい (河川管理者)。</li> </ul> </li> <li>・ 環境面の現状把握が問題。現状を把握したうえで環境保全を考えないといけない。</li> </ul> <p><b>②天ヶ瀬ダム再開発の関連事項について</b></p> <p>河川管理者より審議資料 1-9「塔の島地区の河道整備について 宇治川下流の治水対策について」を用いて説明がなされた後、意見交換がなされた。主な意見交換は以下の通り (例示)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の堤防補強が浸透や侵食をクリアするための補強というのはわかる。しかし、淀川の堤防法面の勾配はきつい。特に宇治川は琵琶湖の後期放流の継続時間が長い。本当に大丈夫なのか (部会長)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>← 長時間の洪水継続時間を対象に堤防の安全性を調査した結果、特に浸透に対して安全性が十分でないという箇所を示した。制約条件の中でどう堤防補強していくのかが宇治川の課題。詳細についてはできるだけ早く詰めていきたい (河川管理者)。</li> </ul> </li> <li>・ 塔の島地区の河道整備では、主に洪水防御と流下が検討されており、景観や環境は詳しく検討されていない。地域住民は「河原で遊べる昔の河川を」とおっしゃっていると思うが、宇治川だけで解決することは難しい。違う場所に流すことまで含めて考える必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>← 景観問題は極めて重要だと考えている。固有種が生息している箇所もあるので、環境要素にも配慮しながら進めていきたい。今後の検討会のなかで検討していきたい (河川管理者)。</li> </ul> </li> <li>・ 「当面実施せず」への方針転換によりあらゆる問題が出てくる。特に移転者への対応について現時点で言えることがあればお願いしたい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>← 5 ダムの方針を説明させて頂いている。まずは、方針についてご理解を頂かなければならないと考えている。大戸川ダムを前提とした地域の事業については滋賀県等と調整していく (河川管理者)。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>3. 一般傍聴者からの意見聴取：一般傍聴者 3 名からの発言があった。主な意見は以下の通り (例示)。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どの時点でどういう検討がされたのかがわかるタイムスケジュールをつけていただければありがたい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>← 代替案の検討や掘削量を減らすための検討を開始したのは、平成 16 年度の約 80cm の河道掘削を検討した時点以降である (河川管理者)。</li> </ul> </li> <li>・ 景観や環境に配慮したということだが、中身をもう少し示して頂きたい。また、堤防補強問題は年代とともに計画内容が変化してきているとのことだが、変わってきた内容について、数字や工事内容を示していただきたい。</li> <li>・ あちこちの農地が、耕作者の高齢化や相続税の問題などで、風前の灯火だ。大戸川でも、今は農地であっても今後どうなるかわからない。土地利用誘導や浸水対策の義務化などで流域対応を進めるための検討をお願いしたい。</li> </ul>		

※このお知らせは委員の皆様には主な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させていただきます。